

# 学校の勉強で得られるもの

山崎 美穂 (筑波大学大学院/数学教育学)

## いまを生きる

(原題: Dead Poets Society)

- ◆ 種別: DVD ビデオ (映画)
- ◆ 監督: ピーター・ウィアー
- ◆ 製作年: 1989 年
- ◆ 製作国: アメリカ
- ◆ 発売元: ウォルト・ディズニー・スタジオ・ジャパン
- ◆ 販売元: タッチストーン・ピクチャーズ
- ◆ 時間: 本編 128 分
- ◆ 音声/字幕: 英語/日本語吹替
- ◆ 価格: ¥1,500 DVD 発売中



© Touchstone Pictures.

### あらすじ

新しく赴任してきた教師キーティングの風変わりな授業に、厳格な規則に縛られている学生たちは初めとまどうものの、次第に行動力を刺激され、新鮮な考えに目覚めてゆく。そして『死せる詩人の会』というクラブを通して、彼らは自らを語りあい、自分がやりたいものは何かを自覚してゆく。

### シーン再現

キーティングは学生に気軽に歩くようにと指示をした。しかし、学生らは誰ともなく手拍子をしたため、彼らの歩くリズムは揃っていった。

**キーティング:** 順応性の話をしたいんだ。自分の信念を貫き通すのは難しい。誰も人とは違う歩き方をしたいと思う。なのに、なぜ手拍子をした？ 人と同化したいのだ。だが、自分に自信を持たねば。他人から非難されようと、バカにされようと。フロストの言葉だ。「森の分かれ道で、人の通らぬ道を選ぼう。すべてが変わる」。君らの歩き方を見つけろ。自分だけの歩み、自分だけの方角を。立派でも愚かでも構わん。さあ、中庭は君たちのものだ。人目を気にせず好きに歩け。

### Chapter

1. プログラム・スタート/0'13
2. オープニング・クレジット/5'31
3. いつも通りの新学期/5'34
4. 型破りな授業/9'45
5. 詩の意義/5'46
6. 自由思想家/9'20
7. “死せる詩人の会” 復活/6'50
8. 自分自身の言葉/1'46
9. 情熱の芽生え/5'21
10. スポーツと詩/3'15
11. 自作の詩/9'55
12. 順応性の話/2'14
13. 去年と同じ贈り物/5'40
14. 行動の時/10'19
15. 父親の怒り/2'01
16. 助言を求めて/2'57
17. 愛の告白/4'04
18. クリスの来訪/8'50
19. 厳重な処罰/3'12
20. 苦悩の果てに…/8'18
21. 密告/6'59
22. “船長” への敬意/5'21
23. エンド・クレジット/3'12

学校は、何を教育している場なのだろうか。子どもたちは、学校で何を学んでいるのだろうか。具体的には、各教科の内容、時間の厳守、忍耐力、規律、他人との協調などがあり、それぞれの学習時間に子どもたちが学んでいるものは様々である。しかし、さらにこれらの学習を通して、子どもたちは学校で何を身につけているのだろうか。

学校には、隠れたカリキュラム (hidden curriculum) の存在がある。これは、正規の教育課程以外の無意識 (時に意図的) な価値伝達のことである。この映画の中では、学生は厳格な親や学校の教育指導の下で従順な学生を演じており、学校での行為に対する「自分の気持ち」(ここでの「自分の気持ち」とは、学校に通わなければ保持され発展されていたであろう気持ちを指している) が軽視されている。学生たちは、「自分の気持ち」に反したものでも教師や親に従わなければならないということに合意しており、「自分の気持ち」とは無力なものだと思いつまようにしていた。つまり、学校で彼らは「自分の気持ち」の捉え方をも学んでいたことになる。

また、学生たちは、それまで勉強や生き方についての受動的態度を身につけてきたが、キーティングによる独立心を養うための授業により刺激を受け、自由な発想を持つことや今までとは別の視点から物事を考えることを身につけていく。そして、自分なりの歩き方を得ようともがきながら、「自分の気持ち」を大切にする姿勢を学んでいく。しかし、学生たちの「自分の気持ち」の捉え方は偏りのあるものであり、自己中心性に近いものであった。相手の迷惑を考えなかったり、親の前での無力感から自殺をしたりする者まで出た。「自分の気持ち」を尊重するにはなつたものの、親や学校を含む自分の周囲の状況把握は上手く出来ていなかった。

このように、学校の勉強から得られるものは、各教科の内容だけではない。それらを通して、勉強や生き方についての態度や価値をも、子どもたちは学んでいる。そして、この映画の学生たちは、さらに「自分への気持ち」の捉え方を学んでいた。隠れたカリキュラムという視点は、具体的な学習内容の習得以外についても、教育の効果を検討する必要があることを気付かせてくれる。

### Information

【書籍】隠れたカリキュラムについては、以下の書籍が参考になる。

- ・ アップル、M.W. 1979/1986 門倉正美ほか訳『学校幻想とカリキュラム』日本エディタースクール出版部。  
カリキュラムや教授活動におけるヘゲモニー支配が、知識だけでなく社会的、経済的、文化的パターンの再生産に寄与していると主張する。
- ・ イリッチ、I. 1970/1977 東洋・小澤周三訳『脱学校の社会』東京創元社。  
学校教育における抑圧的儀礼がイデオロギーとしての支配装置であると批判する。